

第535回 難研セミナー

第108回 難治疾患共同研究拠点セミナー

下記により難研セミナーを開催しますので、多数御来聴下さい。

記

日時：平成27年 6月30日(火) 13:00～15:00

場所：M & Dタワー21階 難研セミナー室

演者：岸 玲子

北海道大学環境健康科学研究教育センター特別招聘教授

演題：環境と子どもの健康に関する出生コホート研究：
北海道スタディの成果と課題

要旨：

2002年から次世代影響に注目し出生コホート研究「The Hokkaido Study of Environment and Child Health ; Malformations, Development, & Allergy」を立ち上げた。札幌の1産院500人と全道2万人規模の2つのコホートで妊娠初期、中後期に質問紙調査と採血を実施し、環境要因が胎児発育や生後の成長、発達に及ぼす影響を追跡している。PCB・ダイオキシン類、有機フッ素系物質などが低濃度でも有意に児の出生体重、生後発達、免疫感染症、甲状腺機能、性ホルモンなどに影響を与えることがわかった。次世代影響は遺伝的な感受性差が大きくハイリスク群が同定された。エピゲノム修飾も検討を始めている。

連絡先：分子疫学 村松正明（内線 97-8060）

共催：エピジェネティクス 石野史敏